

2. 事業の概要

(1) 教育理念

コングレガシオン・ド・ノートルダム修道会の教育:「まことの自由への教育」



コングレガシオン・ド・ノートルダムの学校は、1658年に始まる教育の歴史をもち、子どもたちが生きる意味を見出し、強い意志・勇気・愛をもって、社会の変革に寄与できる、誠実で品位ある人になるように育て、世に送り出そうとしている。すべての教育活動は、子どもたちが自分に与えられた使命に気づき、自己実現ををはかり、未来を拓いて行く力を育てることを目指している。

- ・ イエス・キリストの愛に学ぶ
- ・ 卓越した学問の追究を目ざす
- ・ 神・他者・自分・自然と対話する心を育む
- ・ 義と平和の実現のために働く人を育てる

(2) 教育重点目標

〔福島部門〕

1. 教育力の充実・向上
2. 募集・広報活動の活性化:入学者目標(短大160、高校150、中学校35、小学校30、幼稚園30)

〔調布部門〕

1. ミッションステートメントの具現化
2. 教職員研修の活発な展開

〔北九州部門〕

教育方針:卓越した学力と豊かな人間性を身につけ、「人々のための人」になろうとする
志の高い児童生徒の育成

事業目標:

1. 自立した学習者の育成
2. 次代を担うための先進的な教育の推進
3. 高い教育力を目指した教員研修の充実
4. 経営基盤の強化

(3) 重点課題と実施事業

〔桜の聖母短期大学〕

1. 教育内容の充実

・魅力ある学科・専攻・コースづくり

キャリア教養学科:新カリキュラムとコース制度を2022年度より導入

生活科学科:各専攻の教育課程及び各科目の授業概要等の検討

・多様な学生の学びへの支援(学務部)

令和4年度改定「短期大学三つの方針」に基づいた全学教育課程の改訂

学務Webシステム変更完了に伴う具体的活用方法の検討

・状況に応じ主体的に判断し、協同して活動に取り組む支援(学生支援部)

すべての学生が等しく豊かな学生生活を送ることを目指した学生委員会の構築

「健康支援総合センター」との連携と学生情報の共有

・多様な学生の進路実現(キャリア支援センター)

学科専攻との連携を強化及び情報提供体制の充実

キャリアデザインⅡ・Ⅲを活用した民間就職希望者への計画的支援

個別相談等を通じた就職・編入学・公務員試験合格に向けた支援の実施

(公務員3名、編入学合格延べ12校)

2. 入学定員の充足

・入学定員充足率85%(入学者数145名目標)

→実績:充足率74%(入学者数124名、キャリア教養学科3名減、生活科学科1名増、前年度比2名減)

学長による高校の校長訪問及び高校教員を招いての学校説明会を実施

教職員による高校訪問を計200件実施するとともにオリジナルリーフレットやメディアでの広報を充実

オープンキャンパス新規参加者が年間計214名と増加(昨年度150名)

・内部進学者増加を強力に図るが、前年度比3名減の10名

3. 地域貢献の推進

・オンラインによる講座の開発・展開を進めるとともに、デジタルデバイドの解消を目指したシニア層への

ITリテラシー講座を展開。合わせて社会人向け履修証明プログラムの特別講座も開始。

・ふくしま市産・学・官地域連携プラットフォームの運営・点検評価を基にした中長期計画の見直し

・各学科・専攻・コースでの地域貢献教育活動の実施

〔桜の聖母学院中学校・高等学校〕

1. 生徒のすべての可能性を十分伸ばすことを目指した「One Challenge -Discover yourself-事業」の実施
 - ・学外コンテストへの積極的参加を促し、生徒が自らの興味関心を探り、隠れた才能を自覚・開花させる
初年度は中学生が3割、高校生が2割程度の生徒がチャレンジ
フォトコンテストやイラスト、書、俳句等への応募が多い中、理系コンテストへの参加もあり
→高校生主な結果:福島県発明くふう展(福島市長賞)、全日本学生児童発明くふう展(特許庁長官賞)、
日本動物学会東北支部大会(優秀賞)、福島県総合美術展覧会《書の部》(青少年美術奨励賞)他
→中学生主な結果:三汀賞《俳句》(佳作)、福島県たなばた展《書》(たなばた大賞)、
ふくしまを十七文字で奏でよう絆ふれあい支援事業《俳句》(県北教育事務所絆ふれあい賞)他
2. 生徒自身が自分を変容させる力をもつための準備・支援
 - ・高大連携事業の推進
新型コロナウイルスの影響により、大学広報部の方々を招いての説明会等を実施
国際教養大学English Village Onlineを高校2学年特進コース生徒全員に実施
 - ・ブレインアカデミー英語研修及び数学科教授法研修は感染症拡大が終息次第、次年度以降積極的に実施
3. 生徒が責任ある社会人となるよう目指した地域社会との連携指導
 - ・「福島市を創る高校生ネットワーク(FCN)」への参加と企画・運営・発表
 - ・中学生向けのキャリア教育として、女性目線での職業選択をテーマに保護者・OGの講演会等を実施
4. 社会の変容と地球環境の保護に積極的に取り組む指導
 - ・STEAM教育の推進のため、文部科学省のHP棟を利用した教員研修の実施
 - ・最先端のプログラミング言語Pythonを用いた授業の実施
 - ・SDG'sの観点を取り入れた授業構築を目指した教員研修の実施

〔桜の聖母学院小学校・幼稚園〕

1. 「募集」に関する体制の見直しと新規方策の設定
 - ・幼稚園・保育所・こども園等40施設へ全教員で分担訪問を実施
 - ・保育・授業公開、説明会の増と内容検討(幼稚園説明会1回、小学校説明会2回、オープンスクール1回実施)
 - ・年長組保護者及び高学年保護者に対する進路指導強化(幼小交流会1回実施、幼小だより3回発行)
 - ・運営委員会及び児童募集委員会を中心とした学院祭関係を企画・実施
 - ・小学校同窓会との情報交換と相互協力(1～3年生用花壇の造成計画)
2. カトリック精神とその価値観に基づいた「心の教育」の継続と強化
 - ・「宗教」を中心とした校内研修を年5回実施した他、中高宗教科教員による特別授業を5年生に実施
 - ・「心の教育」を柱とした月ごとの生活目標の策定と徹底(評価不十分、職員会議を通じての指導・改善)
 - ・「こころの時間」における指導計画と内容の改善(教材と内容項目の見直し、全校朝会の教員講話を継続)
3. 本校独自の「英語教育」の展開
 - ・総合的な「英語力」(4技能)習得に向けてのカリキュラム作成と授業力の向上
(各学年の単元・目標・題材・学習内容・評価、基礎単語・基本英文の確認と整理を継続)
 - ・校内外研修への参加と他校の情報収集→新型コロナウイルスの影響により中止または参加不可
 - ・教育改革推進特別補助等を活用した外部講師(ALT等)との協働授業(効果大)
4. 全教員における総合的な「教育力」の向上
 - ・授業(保育)力、生活指導力、学級経営力、説明力に対する分析評価と改善のため、学校評価を活用
 - ・授業研究の質的転換のため、宗教・英語で研究授業を実施(視点を絞った参観、事前事後検討会の実施)
 - ・授業研究の質的転換～授業アンケートの活用～(宗教・英語で研究授業を実施、保護者公開)
 - ・校内研修の立案及び実施(英語の校内研修実施準備と他校訪問を継続)
 - ・校外研修への参加とその内容の共有化(地区私小連、カトリック学校関係研修会に参加)
 - ・リーダーによる教育最新情報の収集と提示(全国私小連幹部研修会に校長・教頭がオンライン参加)
 - ・教育改革推進補助を活用したスクールカウンセラーによる指導・学び(効果大)

〔マルガリタ幼稚園〕

1. 重点目標
 - ・園児:イエス・キリストの愛に学ぶーやさしさをみつけようー
 - ・教職員:保育の質の向上、建学の精神と聖書の研究
 - ・事務職員:事務処理の効率化、無償化の事務処理
 - 園長から教職員へのメッセージ、教職員から園児へや言葉かけ等を通した愛の精神や優しさの伝達
 - 職員会議にて建学の精神の確認や聖書朗読、勉強会を実施、その他オンライン研修を5回実施
 - ホームページ上に保護者向けページやバナーを設置し、印刷物等の作成・配布業務を削減
2. 幼稚園運営の基本的事項
 - ・園児減少対策・園児募集及び経営安定化対策
 - 令和4年度満3歳児クラスを開設、保育料無償化時代における補助金公費獲得の拡大
 - ・コロナ禍における園児・教職員の安心・安全対策
 - 感染拡大防止措置の徹底及び感染者・濃厚接触者発生時の対応強化
(家庭内感染等陽性者:園児11名・家族26名、園内感染:0名)

→コロナ感染対応や防止対策

(一斉メール・HPの活用、情報の一元管理、保健所・市・園医等との連絡体制の確立)

3. 保護者アンケートへの対応

- ・施設・設備の老朽化及び安全のための改善(玄関引戸改修、外階段補修、園庭遊具改修・塗装等を実施)
- ・預かり保育の時間・日数の拡大(時間の延長、日数の増加、申込の簡素化、入金方法の見直し等を実施)

[明治学園中学・高等学校]

1. 変化する未来に向けての先進的な教育の推進

2. 高い教育力を目指した教員研修の充実

(Catholic Spirit及びカリキュラムマネジメントの実践、キャリア教育の再構築、AARサイクルの実践、ICT活用等)

→令和4年度から中学1年～高校1年までのiPad購入により一人一台端末環境が整備された

3. 小と中高が連携しての魅力ある学園の実現(教科間、学習指導、生徒指導での連携)

→教科間での連携が不十分なため、次年度定期的に合同教科会を実施予定

4. 経営基盤の強化(生徒募集)

→外部小学校からの入学者は61名で昨年比16名増

→明治学園小学校から同中学校へ内部進学しなかった児童数が今年も2桁

5. 進学目標: 国公立医学部医学科15名を含む超難関大学20名合格及び私立医学部医学科5名の進学

→実績: 国公立医学部医学科12名、超難関大学16名、私立医学部医学科8名

→次年度に向けて、学習への動機付けだけでなく、学習方法の指示などの具体化や授業や定期考査の見直し、課題の出し方などの研究を進め、英・国・数の中堅層の引き上げ対策に重点を置く

[明治学園小学校]

1. 先進的教育の推進

・校内研究を通じた主体的・対話的で深い学びの授業実践による自立した学習者の育成

・低学年の英語授業の強化

・ロイノートの活用やオンライン授業・オンデマンド授業内容の向上によるICTの効果的な活用研究

→ICT機器については社会科見学・インタビュー・他校交流・プログラミング学習などにも活用の幅が広がった

・行事や体験学習などを通じた広い視野をもつ児童生徒の育成

2. 教員の指導力向上

・宗教研修の充実、宗教科の年間指導計画の改定等による学園の教育理念の具現化

・授業力向上のための研修実施(研究計画の再構築、S.C.やS.A.の活用、学級経営に関する研修等)

3. 小と中高が連携しての魅力ある学園の実現(教科間、学習指導、生徒指導での連携)

4. 経営基盤の強化

・小中高一体となつての教育活動の充実

・SNS等による学園の見える化と新しい生徒募集の方策の研究

・適正な人材配置と総合的な経費節減

→入試イベント申込及び入学試験出願に関してWebシステムを導入

(4) 施設・設備

[桜の聖母短期大学]

1. マリアンホールエレベーター制御リニューアル工事

2. 保育室床改修工事

3. 図書除菌機

4. コーケンベビー等その他教育機器備品

5. 電話交換機

6. 校舎内外・設備等各所修繕工事

[桜の聖母学院中学校・高等学校]

1. 正面玄関電子錠設置

2. テニスコート改修工事

3. ドアホン設置

4. 生徒用机・椅子入替

5. タブレット収納庫等その他教育機器備品

6. 校舎内外・設備等各所修繕工事

[桜の聖母学院小学校・幼稚園]

1. 児童用机・椅子入替

2. グランドピアノ

3. 大型スクリーン等その他教育機器備品

4. 園児用椅子・折り畳み椅子

5. おもちゃ殺菌庫等その他教育機器備品

6. 校舎内外・設備等各所修繕工事

[マルガリタ幼稚園]

1. 砂場枠取替工事

2. 園児玄関引戸改修工事

3. プロジェクター等その他教育関係備品

4. 校舎内外・設備等各所修繕工事

[明治学園]

1. 小中高講堂プロジェクター入替

2. ICT教育推進用ファイアウォール設置

3. 小中高教員用タブレット・PC

4. 小学校児童用タブレット収納庫

5. 小学校体育館用冷風機設置

6. 中高駐輪場屋根・金工室空調新設

7. 高校B棟空調取替

8. 校舎内外・設備等各所修繕工事